

事務事業名		男女共同参画啓発事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり						担当係	男女共同参画係	担当課長名	小菅 誠		
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 男女共同参画の意識づくりの推進						実施計画事業・一般事業	実施計画事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	2072	一般	2	1	15	男女共同参画啓発事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令等	佐野市男女共同参画推進条例	実施方法	一部委託					
							事業分類	講座・教室・イベント等開催事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
男女共同参画社会とは、男女がお互いに尊重し、社会の対等な構成員として、共に社会の様々な分野における活動に参画できることである。 男女共同参画について理解を深めてもらうため、講演会・講座の開催や「広報さの」への記事の掲載、情報紙「バレット」の発行、小学校の標語・作文の募集等啓発活動を実施する。			働きたいママの再就職準備セミナーの開催(7/16)、男女共同参画に関する市民及び職員研修会の開催(9/1)、男女共同参画講演会の開催(1/17)、女性のためのエンパワーメント講座の開催(3日間)、女性のためのコミュニケーション講座の開催(3日間)、パパのためのベビーマッサージ講座の開催(7/6 11/9)、企業人権啓発懇談会の開催(11/25)、男性対象のそば打ち教室の開催(11/22)、メロブーズケア講座の開催(3/4)、「広報さの」特集ページでの情報提供(6月号・11月号)、情報紙「バレット」の発行(8月、3月)、小学生の標語・作文の募集(111作品)、男女共同参画セミナー基礎コース(5/24～6/14)、ステップアップコース(9/6～10/11)へ2名派遣、「女性に対する暴力をなくす運動」啓発ポスター、関連資料の掲示(11/12～25)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			講演会等の開催延べ回数	回	6	8	4	4	4	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人	123,182	122,582				
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			講演会等に参加して、男女共同参画に対する理解を深めてもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	463	549	375	380	385	
			講演会等がよかったと答えた人の割合	%	92.2	98.3	94.3	94.4	94.5	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
男女共同参画の理解を深めている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			男女の地位が平等になっていると考えている市民の割合	%	14.8	11.9	24.0	24.5	25.0	
			男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしても家庭にいても良いと考えている市民の割合	%	33.3	34.3	37.0	38.0	39.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		368		366		444		450		450
	事業費計(A)	千円		368		366		444		450		450
	事業費の内訳	報償金	千円	44	73	108	108	108	108	108	108	108
		報償物資費	千円	51	48	55	56	56	56	56	56	
		費用弁償	千円	28	13	24	41	41	41	41	41	
		消耗品費	千円	104	79	68	81	81	81	81	81	
印刷製本費		千円	140	152	187	162	162	162	162	162		
賠償責任保険料		千円	1	1	2	2	2	2	2	2		
正職員従事人数		人	2	2	2	2	2	2	2			
のべ業務時間	時間	610	640	640	640	640	640					
人件費計(B)	千円	2,374	2,522	2,522	2,522	2,522	2,522					
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,742	2,888	2,966	2,972	2,972						

B表(事後評価シート)

事務事業名	男女共同参画啓発事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国及び県において、男女共同参画に関する制度が整備されてきたことに伴い、平成12年度より、女性関連事務事業から男女共同参画啓発事業となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国・県において、男女共同参画に関する計画の策定及び条例の制定がなされた。県内市町村においても男女共同参画に関する施策が取り組まれ、計画の策定や条例の制定をする市町村が増えてきている。佐野市においても、平成18年6月に佐野市男女共同参画推進条例を制定し、平成20年3月に男女共同参画プラン(第一期)、平成26年3月には同プラン(第二期)の策定を行った。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	講座受講者からは概ね「よかった」との感想が寄せられている。男性の受講者からは、料理教室や英会話教室、子どもとのふれあい事業等もっと多彩な講座の希望があった。また、市民から情報紙「パレット」の印刷が不鮮明で見づらいとの指摘があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	職員対象の男女共同参画研修会(DVの正しい理解とその対応)に市民も参加できるようにしたり、男性向けの講座(パパのためのベビーマッサージ、そば打ち教室)を企画したり、内容・やり方を工夫して実施して参加者の増が図れた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	専門家を講師とした講演会や体験型の講座に参加することにより、男女共同参画について考える機会が提供でき、さらなる気づきが得られるなど、「男女共同参画社会の実現」という政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国において、男女共同参画社会の実現は緊急かつ重要な課題とされており、自治体においても同様の取り組みが求められているため、市が中心となって市民、事業者や市民団体と協働して男女共同参画に関する事業を行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民一人一人に男女共同参画の理念を理解してもらい、男女共同参画社会の実現にむけた活動に取り組んでもらうことが必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	男女共同参画の推進にはいろいろな立場や年代の人たちに理解してもらい、講座の対象年齢や内容、情報提供の方法などをより工夫することにより参加者数の増につながり、成果向上が期待できる。また、情報紙の印刷を業者に委託することにより、より見やすい紙面になるのではないかと期待している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	講演会の開催や情報紙の発行など事業内容では類似事業はあるが、男女共同参画の意識づくりの推進のための事務事業は他にないため。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	講座の内容を充実させるためには、いろいろな立場や年代の人たちが関心の持つようなものにして、情報提供の方法などをより工夫する必要があるため事業費・人件費の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	講座等によっては対象者をより絞り込んだものもあるが、広くは不特定多数の市民に男女共同参画について理解し活動してもらうためのものであり負担を求める余地はない。講座を円滑に行うため、補助的に必要な材料費等の負担を求めているものもある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	男女共同参画社会が実現する時まで、事業は継続する必要がある。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 講座参加者に対するアンケート調査等を引き続き行い、市民が参加意欲を持つような講座の内容を工夫・改善することなどにより参加者の増を図る。また、情報紙の印刷を業者に委託することにより、より見やすく、男女共同参画に興味を持っていただくような紙面作りが出来るものと考えている。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	幅広い年齢層が参加しやすいような講座等の運営が必要である。そのため、開催曜日・開催時間等に工夫を要する。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			